

57

千代田区景観まちづくり重要物件

四谷見附橋

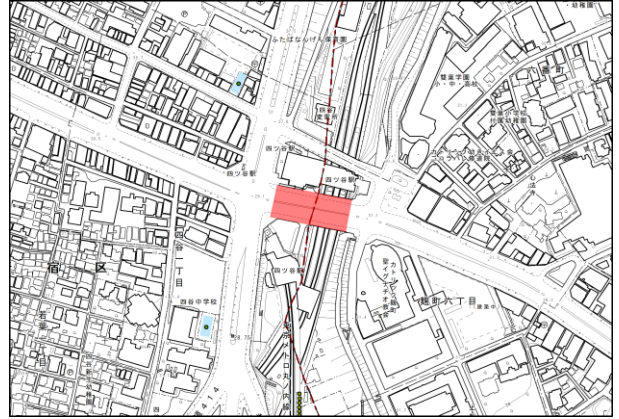
指定日 2007(平成 19 年)3 月 28 日

所在地 麹町六丁目 5 番地先～新宿区四谷一丁目 1,5 番地先 (外濠)

設計者 -

竣工 1987 (昭和 62) 年架替

文化財等
指定状況 -



▲四谷見附橋から千代田区側を望む

歴史・文化的特徴

旧四谷見附橋は、麴町大通りと外堀通りを直結するルートとして、また1909（明治42）年竣工の赤坂離宮への導入部として1913（大正2）年に架けられました。赤坂離宮とのデザインの相関性や導入部としての演出が評価されています。

現在の四谷見附橋は、1987（昭和62）年に拡幅され架け替えられたものですが、橋灯などの細部や全体のデザインは旧橋の意匠を継承してつくられています。



▲橋詰付近の高欄



▲特徴的な橋灯と高欄

意匠・構造の特徴

1913（大正2）年に架けられた旧四谷見附橋のネオバロック風のデザインを継承した古典的な意匠が特徴的です。

方杖ラーメンのアーチ橋として優美な姿を見せています。橋桁側面の色は薄緑色です。

周辺景観との関係

歩行者は高欄、橋灯、橋名坂といった古典的な意匠を身近に見ることができます。

橋梁上は外濠周辺の開放的な景観の眺望点となっています。

周辺道路からは、橋梁全景を見ることができますが、JRホームをまたぐ形となり、旧四谷見附橋が見せていたような優美なアーチの形状は良く認識できません。

一方JR中央線ホームからは、アーチ橋の煉瓦と石貼でデザインされた橋台をよく見ることができ、四ツ谷駅のランドマークとなっています。